[学会・シンポジウム]

1.　**田中　圭、鈴木　隆、鈴木康夫、古田　巧**：
プローブ分子の開発を指向した EGCG 誘導体の合成研究

静岡県立大学 2004 US フォーラム，講演要旨集、 p. 69, 2005 年３月 2 日

2.　**椿　一典、田中弘之、三浦正哉、森川浩至、古田　巧、田中　圭、冨士　薫、川端猛夫**：

軸から軸への不斉誘起による光学活性オリゴナフタレン類の不斉合成

第 85 回日本化学会春季年会（神奈川）2005 年 3 月 28 日

3.　**菅　敏幸、川本諭一郎、福山　透**：
アルテミシジンの合成研究

第 85 回日本化学会春季年会（神奈川）2005 年 3 月 28 日

4.　**浅川 倫宏、飯沼 美絵、古田　巧、田中　圭**：
クムレン誘導体の分子内ヘテロ芳香化反応の研究

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.43、2005 年 3 月 30 日

5.　**小原伸啓、吉田　郁、望月信宏、田中　圭、森本俊明**：
軸不斉 P, O, N 型配位子を用いるジエチル亜鉛のエノンへの銅触媒不斉共役付加反応

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.76、2005 年 3 月 30 日

6.　**小林英樹、菅　敏幸、福山　透**：
Decursivine の合成研究

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.4、2005 年 3 月 31 日

7.　**冨成祐介、北　陽一、菅　敏幸、福山　透**：
ケラマフィジン B の合成研究

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.33、2005 年 3 月 31 日

8.　**竹元万寿美、岩切靖卓、田中　圭**：
植物培養細胞による、酸化的開裂反応を利用した各種中員環ケトラクタムの合成

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、p.42、2005 年 3 月 31

9.　**椿　一典、田中弘之、三浦正哉、森川浩至、古田　巧、田中　圭、冨士　薫、川端猛夫**：
軸から軸への不斉誘起による光学活性オリゴナフタレン類の不斉合成

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.95、2005 年 3 月 31 日

10.　**阿部紋子、上田　満、廣岡康男、古田　巧、田中　圭**：

光反応性 EGCG 関連誘導体の合成研究

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.96、2005 年 3 月 31 日

11. **小泉靖明、鈴木 紳也、古田　巧、田中　圭、横井利夫**：
新規ビフェナンスリルエーテル誘導体の合成研究（その２）

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.98、2005 年 3 月 31 日

12. **橋本理乃、北村祐樹、吉川誠二、古田　巧、田中　圭**：
ビアリール型ホスフィン配位子を用いた Pd 触媒ラクタム化反応の研究

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.98、2005 年 3 月 31 日

13. **近藤祥子、木村智之、三原久史、鈴木宏隆、Md. Abu. Bakar、古田　巧、 脇本敏幸、糠谷東雄、辻　邦郎、田中　圭**：
抗炎症作用を有するフラボン *C*-配糖体の合成研究（その２）

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.98、2005 年 3 月 31 日

14. **脇本敏幸、近藤祥子、木村智之、三原久史、鈴木宏隆、渡邊　智、Md. Abu. Bakar、古田巧、糠谷東雄、辻　邦郎、田中　圭**：
抗炎症作用を有するフラボン *C*-配糖体の合成研究（その３）

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.98、2005 年 3 月 31 日

15. **竹部　亨、北　陽一、冨成祐介、諸橋雄一、富田泰輔、菅　敏幸、夏苅英昭、岩坪　威、福山　透**：
γセクレターゼの機能解析を目指したフォトアフィニティプローブの合成、

日本薬学会年会 126 年会（東京）、講演要旨集（4）、 p.202、2005 年 3 月 31 日

16. **古田　巧**：
膜蛋白質の選択的切断を目的とした人工リン脂質の合成と機能

第 8 回有機分子構築法夏の学校（徳島）2005 年 6 月 11 日

17. **橋本理乃、北村祐樹、吉川誠二、古田　巧、菅　敏幸、田中　圭**：
Pd 触媒分子間ビアリールカップリングによるフェナンスリジノン誘導体の合成

第 51 回日本薬学会東海支部総会（岐阜）、講演要旨集、p.12、2005 年 7 月 2 日

18. **岩切靖卓、竹元万寿美、石川智子、管　敏幸、田中　圭**：
植物培養細胞を利用した各種インドール誘導体の環境調和型酸化的開裂反応

第 51 回日本薬学会東海支部総会（岐阜）、講演要旨集、p.16、2005 年 7 月 2 日

19. **椿　一典、高石和人、田中弘之、三浦正哉、川端猛夫、古田　巧、冨士　薫**：
オリゴナフタレン類の精密合成と不斉発現のメカニズム

第 11 回機能性ホストゲスト化学研究会サマーセミナー（富山）、2005 年 7 月 28 日

20. **内田賢司、菅　敏幸、福山　透**：
(--)-モルヒネの合成研究

第 22 回有機合成協会夏季大学、講演要旨集、p.107、2005 年 9 月 7 日

21. **小泉靖明、鈴木紳也、古田　巧、菅　敏幸、田中　圭**：
新規ビフェナンスリルエーテル誘導体の合成研究

第 36 回中化連秋季大会（静岡）、講演要旨集、p.72、2005 年 9 月 23 日

22. **阿部紋子、上田　満、廣岡康男、古田　巧、菅　敏幸、田中　圭**：
カテキン類の新規合成法の開発研究

第 36 回中化連秋季大会（静岡）、講演要旨集、p.75、2005 年 9 月 23 日

23. **飯沼美絵、浅川倫宏、古田　巧、菅　敏幸、田中　圭**：
クムレン類の反応性：Friedel-Crafts 反応および Diels-Alder 反応の検討

第 36 回中化連秋季大会（静岡）、講演要旨集、p.75、2005 年 9 月 23 日

24. **冨成祐介、北　陽一、菅　敏幸、福山　透**：
Synthetic studies on Keramaphidin B

第 3 回日韓天然物談話会、2005 年 9 月 25 日

25. **川本諭一郎、菅　敏幸、福山　透**：
アルテミシジンの合成研究

第 47 回天然有機化合物討論会（徳島）、講演要旨集、p.73、2005 年 10 月 5 日

26. **北　陽一、菅　敏幸、福山　透**：
Manzamine A の合成研究

第 49 回日本薬学会関東支部、講演要旨集、p.57、2005 年 10 月 8 日

27. **浅川倫宏、飯沼美絵、古田　巧、田中　圭**：
クムレン誘導体の反応性：Diels-Alder 反応および Friedel-Crafts 反応の検討

第 31 回反応と合成の進歩シンポジウム（神戸）、講演要旨集、p.264 、2005 年 11 月 8 日

28. **北村祐樹、橋本理乃、吉川誠二、古田　巧、菅　敏幸、田中　圭**：
新規ビアリール型ホスフィン配位子の合成と機能：分子内アミド化および分子間ビアリールカップリングにいよるフェナンスリジノン誘導体の合成

第 51 回有機合成シンポジウム（東京）、講演要旨集、 p.74、2005 年 11 月 11 日

29. **小林英樹、菅　敏幸、福山　透**：
Decursivine の合成研究

第 50 回有機合成協会関東支部シンポジウム、講演要旨集、p.116、2005 年 11 月 19 日

30. **赤岩路則、力丸健太郎、森　一樹、横島　聡、菅　敏幸、福山　透**：

Ugi 反応を機軸としたイソキノリンアルカロイド類の合成研究

第 24 回メディシナルケミストリーシンポジウム（大阪）、講演要旨集 、p.216、2005 年 11 月 29 日

31. Toshiyuki Kan, Yusuke Tominari, Yoichi Kita, Yuichi Morohashi, Hideaki Natsugari, Taisuke Tomita, Takeshi Iwatsubo, Tohru Fukuyama:
Convenient synthesis of a photoaffinity probe and a functional analysis of α-secretase

Pacifichem 2005（ハワイ）、2005 年 12 月 17 日

32. Takumi Furuta, Tomoyuki Kimura, Sachiko Kondo, Hirotaka Suzuki, Hisashi Mihara, Toshiyuki Wakimoto, Haruo Nukaya, Kuniro Tsuji, Kiyoshi Tanaka, Toshiyuki Kan:
Concise total synthesis of flavone *C*-glycoside having anti-inflammatory activity

Pacifichem 2005（ハワイ）、2005 年 12 月 19 日

[講演]

1. **菅　敏幸**：対称をくずした美学：FR901483 と Altemicidin の合成研究

精密合成化学セミナー、講演、北海道大学大学院工学研究科、2005 年 1 月 5 日

2. **菅　敏幸**：ニトロベンゼンスルホンアミドの化学：天然物の全合成と医薬化学への展開

物質分子系専攻談話会セミナー、講演、大阪市立大学大学院理学系研究科、2005 年 1 月 28 日

3. **菅　敏幸**：イソキノリンアルカ ロイドの合成研究

２１世紀 COE「京都大学化学連携研究教育拠点」化学研究所精密有機合成セミナー、講演、

京都大学化学研究所、2005 年 2 月 5 日

4. **菅　敏幸**：ニトロベンゼンスルホンアミドの化学：天然物の全合成と医薬化学への展開

第 21 回有機化学系合同セミナー、講演、名古屋市立大学 薬友会館３階　水野ホール、

2005 年 7 月 13 日

5. **菅　敏幸**：有機合成を基盤とするγセクレターゼの機能解明

第 6 回創薬ビジョンシンポジウム、受賞講演、東京大学 医学部鉄門記念講堂、

2005 年 7 月 21 日

6. **菅　敏幸**：潜在する対称性に注目した天然物合成

静岡グランシップ、第３６回中化連秋季大会、依頼講演、2005 年 9 月 24 日

7. **菅　敏幸**：Functional analysis of gamma-secretase by means of synthetic organic chemistry

東京大学２１世紀 COE プログラム「戦略的基礎創薬科学」第３回国際シンポジウム、

招待講演、東京大学薬学部総合研究棟講堂、2005 年 11 月 2 日

8. **菅　敏幸**：ニトロベンゼンスルホンアミドの化学：天然物合成と医薬品開発

大学院特別講義、講演、明治薬科大学、2005 年 12 月 12 日

9. **菅　敏幸**：アルツハイマー病に挑む：発症原因の解明と治療薬の開発

オープンキャンパス模擬講義、静岡県立大学薬学部、2005 年 8 月 1 日

10. **菅　敏幸**：有機合成の力と技でアルツハイマー病に挑む

高大連携出張授業、榛原高校、2005 年 11 月 4 日

[TOP]